

経済学部A方式Ⅱ日程・社会学部A方式Ⅱ日程  
スポーツ健康学部A方式

3 限 選 択 科 目 (60 分)

科 目	ペー ジ	科 目	ペー ジ
政治・経済	2~14	日本史	16~32
世界史	34~50	地理	52~63
数学	64~69		

〈注意事項〉

- 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
- 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
- 科目の選択は、受験しようとする科目の解答用紙を選択した時点で決定となる。  
一度選択した科目の変更は一切認めない。
- 数学は以下の注意事項に従うこと。
  - 解答用紙の所定欄の受験学部を○で囲むこと。
  - 解答はおもて面と裏面の所定の位置に、上下の方向に気をつけて記入すること。
  - 解答を導く途中経過も書くこと。
  - その他、解答用紙に記載された指示にしたがい解答すること(この指示どおりでない場合は採点の対象としない)。
  - 定規、コンパス、電卓の使用は認めない。
- マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

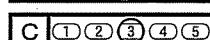
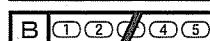
記入上の注意

1. 記入例 答案を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



} 枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

- 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
- 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
- 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

- 問題冊子のページを切り離さないこと。

# (日　本　史)

[I] 次の文を読み、下記の問い合わせに答えよ。

南北朝の内乱は足利尊氏の孫足利義満が3代将軍につくころからしだいにおさまってきた。義満は1378(永和4)年に京都の[A]に[B]とよばれる邸宅をかまえて政治を行なった。

義満は動乱の中で強大となった守護を抑えるため、守護どうしの対立や一族の内紛を利用して守護勢力の削減につとめた。1390(明徳元)年、[C]：[C]・[C]の守護を兼ねる有力守護家の内紛に介入して[D]を滅ぼし([D]の乱)、1391(明徳2)年に西国[E]カ国<sup>④</sup>の守護を兼ねた山名氏一族の内紛に介入して山名氏清らを滅ぼし、1399(応永6)年には中国地方の[F]を討つなどして権力の集中をはかった。

義満は南朝方との和平交渉もすすめ、1392(明徳3)年、南朝の[G]天皇が北朝の[H]天皇に譲位するという形で南北朝の合体を実現させた。義満は政権の所在地でもあった京都の警察権や民事裁判権や臨時課税の徵収権などを手中におさめ、朝廷の人事や儀式にも介入した。

幕府の支配機構も整えられた。中央では、将軍を補佐して政務の中心をなう管領に、足利氏一門の斯波・細川・畠山の三氏が交代でついた。警察や裁判にあたった侍所の長官([I])には四職と呼ばれた有力守護大名が任命された。そのほか将軍家の家政や財政を担当した[J]などがおかれた。

幕府の地方機関としては鎌倉府や[K]探題・[K]探題・[K]探題などがおかれた。しかし、鎌倉府の長官である鎌倉公方は将軍に対抗する意識をもち、京都の幕府としばしば衝突した。1379年には鎌倉公方足利[L]が京都で管領[M]が追放された政変に呼応して挙兵しようとし、足利[L]の子の鎌倉公方足利[N]は応永の乱の時に[F]に味方しようとした。そして1438(永享10)年將軍足利[O]は幕府に反抗的な鎌倉公方足利[P]を攻め、翌年、滅ぼした。

日本史

問1 空欄 **A** にあてはまる地名を以下のア～オの中から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 室町 イ 北山 ウ 東山 エ 六波羅 オ 白河

問2 空欄 **B** にあてはまる用語を以下のア～オの中から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 北山殿 イ 東山山荘 ウ 花の御所  
エ 三条殿 オ 金閣

問3 下線部①に関する説明として誤っているものを以下のア～オの中から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 鎌倉時代の平時の守護の職務でもっとも重要なものは、全国の御家人に將軍の御所を警護させる「大番催促」と謀叛・殺害人の逮捕という、いわゆる大犯三箇条と称されるものであった。

イ 鎌倉時代の幕府法上は、守護の職権は大犯三箇条に限定され、莊園や国衙領への干渉は禁じられていたが、現実には国衙に守護の影響力が及んだり、一定の莊園・国衙領が守護領となることもあった。

ウ 観応の擾乱に際して足利尊氏は守護の軍費調達のため、莊園年貢の半分を兵糧米として守護に与えた。

エ 室町時代になると守護は、莊園領主に対して管国内の年貢納入も請け負うようになった。

オ 室町時代の守護には、従来の大犯三箇条に加え、幕府の判決を強制執行する権限が新たに与えられた。

問4 空欄 **C** にあてはまらない国名を以下のア～オの中から二つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 美濃 イ 越前 ウ 尾張 エ 讃岐 オ 伊勢

## 日本史

問5 空欄 **D** にあてはまる人名を以下のア～オの中から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 畠山義就

イ 今川貞世

ウ 土岐康行

エ 斯波義敏

オ 富樫政親

問6 空欄 **E** にあてはまる数字を以下のア～オの中から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 3

イ 6

ウ 8

エ 9

オ 11

問7 空欄 **F** にあてはまる人名を以下のア～オの中から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 大内兵衛

イ 大内義隆

ウ 大内義弘

エ 大内政弘

オ 大内義興

問8 空欄 **G** にあてはまる人名を以下のア～オの中から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 後宇多

イ 後二条

ウ 後龜山

エ 長慶

オ 後村上

問9 空欄 **H** にあてはまる人名を以下のア～オの中から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 後伏見

イ 後花園

ウ 後小松

エ 後円融

オ 称光

問10 空欄 **I** にあてはまる下線部⑤の職名を以下のア～オの中から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 執事

イ 所司

ウ 探題

エ 別当

オ 番頭

問11 空欄 **J** にあてはまる用語を以下のア～オの中から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 評定衆

イ 問注所

ウ 税所

エ 政所

オ 勘定奉行

問12 下線部②の初代の長(公方)を以下のア～オの中から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |        |        |        |
|--------|--------|--------|
| ア 足利直冬 | イ 足利義詮 | ウ 足利基氏 |
| エ 足利氏満 | オ 足利滿兼 |        |

問13 下線部③の管轄下になかった国名を以下のア～オの中から二つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|
| ア 安房 | イ 信濃 | ウ 伊豆 | エ 駿河 | オ 甲斐 |
|------|------|------|------|------|

問14 空欄 K にあてはまらない用語を以下のア～オの中から二つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|
| ア 九州 | イ 長門 | ウ 奥州 | エ 鎮西 | オ 羽州 |
|------|------|------|------|------|

問15 空欄 L にあてはまる人名を以下のア～オの中から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|
| ア 持氏 | イ 義詮 | ウ 基氏 | エ 滿兼 | オ 氏満 |
|------|------|------|------|------|

問16 空欄 M にあてはまる人名を以下のア～オの中から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |        |        |        |
|--------|--------|--------|
| ア 斯波義将 | イ 斯波義廉 | ウ 細川勝元 |
| エ 細川頼之 | オ 畠山政長 |        |

問17 空欄 N にあてはまる人名を以下のア～オの中から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|
| ア 持氏 | イ 義詮 | ウ 基氏 | エ 滿兼 | オ 氏満 |
|------|------|------|------|------|

問18 空欄 O にあてはまる人名を以下のア～オの中から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|
| ア 義教 | イ 政知 | ウ 義政 | エ 義持 | オ 義詮 |
|------|------|------|------|------|

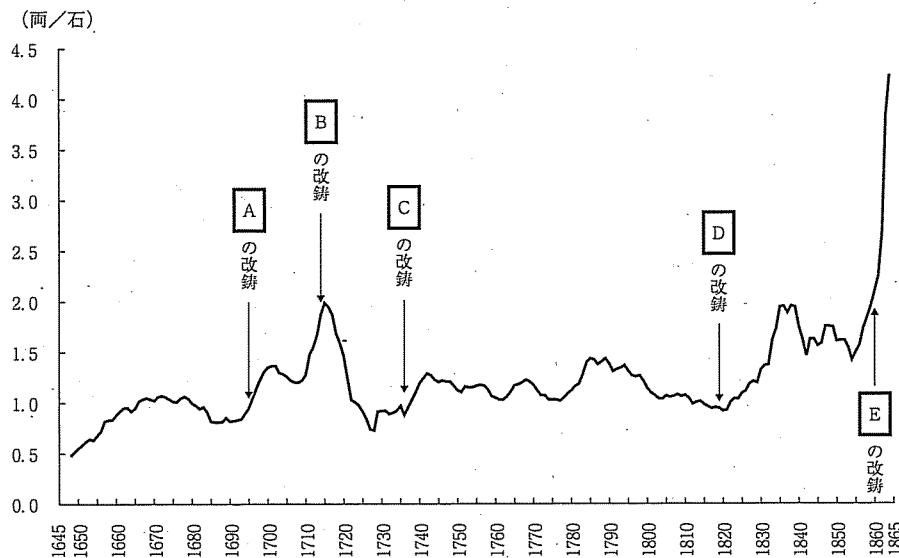
日本史

問19 空欄 P にあてはまる人名を以下のア～オの中から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 持氏 イ 義詮 ウ 基氏 エ 满兼 オ 氏満

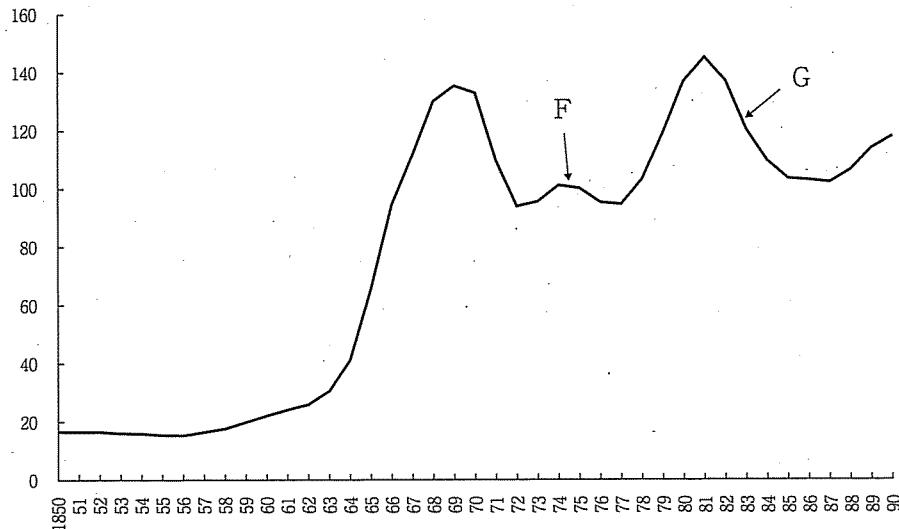
[Ⅱ] 次の図1と図2を見て、下記の問いに答えよ。

図1 江戸時代の米価(名古屋)の推移



(資料)山崎隆三『近世物価史研究』所収データより作成。各年値を移動平均法で加工した。

図2 大阪卸売物価指数(1874-75年=100)の推移



(資料)斎藤修「大阪卸売物価指数1757-1915年」『三田学会雑誌』68巻10号所収データより作成。各年値を移動平均法で加工した。

## 日本史

問1 江戸時代の物価変動には、貨幣に含まれる貴金属の量が大きな影響を与えた。江戸時代を通じて貨幣(小判)はしばしば鑄直され(改鋳)，重量や成分比率が変更された。図1は江戸時代の名古屋における米価の推移で、実施された小判の改鋳の一部をA～Eとして示した。A～Eにあてはまる元号を以下のア～ケの中からそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |      |      |      |
|------|------|------|
| ア 延宝 | イ 寛永 | ウ 元文 |
| エ 元禄 | オ 正徳 | カ 文化 |
| キ 文政 | ク 宝永 | ケ 万延 |

問2 A～Eの改鋳の中で、江戸初期の慶長小判とほぼ同じ価値(1両当たりの金量)に戻した改鋳を以下のア～オの中からすべて選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |        |        |        |
|--------|--------|--------|
| ア Aの改鋳 | イ Bの改鋳 | ウ Cの改鋳 |
| エ Dの改鋳 | オ Eの改鋳 |        |

問3 Aの改鋳を將軍に上申した人物を以下のア～オの中から一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |        |        |        |
|--------|--------|--------|
| ア 萩原重秀 | イ 保科正之 | ウ 柳沢吉保 |
| エ 間部詮房 | オ 松平信綱 |        |

問4 Aの改鋳からCの改鋳の間の事柄として誤っているものを以下のア～オの中からすべて選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 狩野永徳とその弟子狩野山楽による障壁画が描かれた。  
イ 最初の生類憐みの令が出された。  
ウ 赤穂藩主浅野長矩が江戸城中で吉良義央を傷つけた。  
エ 蝦夷地で「シャクシャインの戦い」と呼ばれた武力衝突が起きた。  
オ 富士山が噴火し、大被害をもたらした。

問5 Bの改鑄を実施させた人物の著作を以下のア～オの中からすべて選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |        |        |        |
|--------|--------|--------|
| ア 読史余論 | イ 本朝通鑑 | ウ 采覽異言 |
| エ 大学或問 | オ 藩翰譜  |        |

問6 Cの改鑄を実施させた將軍の政策として誤っているものを以下のア～オの中からすべて選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |                               |
|-------------------------------|
| ア 大名から石高に応じ米を上納させる「上げ米」を実施した。 |
| イ 米価調整のために、大坂の堂島米市場を公認した。     |
| ウ キリスト教に関係のない漢訳洋書の輸入制限を緩めた。   |
| エ 旗本の大岡忠相を側用人に登用し、改革にあたらせた。   |
| オ 子どもの宗尹に田安家、宗武に一橋家をおこさせた。    |

## 日本史

問7 次の説明文の 1 ~ 5 にもっとも適切なものを以下のア~タの中からそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

Cの改鑄とDの改鑄の間に、画期的な貨幣制度改革が行われた。十代將軍1 の時代に政治的実権を握っていた2 は、貨幣の価値を重さで測っていた銀貨（秤量銀貨）に加え、金貨と同様の単位を使う計数銀貨を新たに導入した。その時代の代表的な計数銀貨が3 であった。2 は計数銀貨導入以外にもさまざまな制度改革を実施した。たとえば幕府の歳入増を図るため、年貢米に依存した硬直的な収入構造を改め、4 を広く公認し、非農業分野からの財源確保に努めた。また蝦夷地の開発やロシアとの貿易の可能性を探る目的で、5 を蝦夷地に派遣した。

- |         |        |         |
|---------|--------|---------|
| ア 安政一分銀 | イ 伊能忠敬 | ウ 株仲間   |
| エ 工藤平助  | オ 田沼意次 | カ 天保一分銀 |
| キ 德川家重  | ク 德川家斉 | ケ 德川家治  |
| コ 南鎌二朱銀 | サ 松平定信 | シ 間宮林蔵  |
| ス 水野忠邦  | セ 最上徳内 | ソ 樂市樂座  |
| タ 両替商   |        |         |

問8 Dの改鑄に先立つ時期、寛政の改革と呼ばれた一連の引き締め政策がとられた。寛政の改革に関連しないものを以下のア~オの中からすべて選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 両替商を中心とする豪商たちが勘定所御用達として幕府に登用された。  
イ 億約令を徹底させるため、歌舞伎の江戸三座が移転させられたり、作家の為永春水が処罰されたりした。  
ウ 貧民を対象とする小石川養生所がつくられた。  
エ 町費節約のために七分積金制度が導入された。  
オ 海舶互市新例が発布され長崎貿易が制限された。

## 日本史

問9 Dの改鑄の頃に出版された著作とその作者の組み合わせとして誤っているものを以下のア～オの中からすべて選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 経世秘策 - 佐藤信淵
- イ 暦象新書 - 志筑忠雄
- ウ 修紫田舎源氏 - 式亭三馬
- エ 権説弓張月 - 曲亭馬琴
- オ 稽古談 - 海保青陵

問10 Eの改鑄に関する次の説明文の 1 ~ 5 にもっとも適切なものを以下のア～セの中からそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。ただし同じ記号を繰り返し選んでもよい。

Eの改鑄は、幕府が鎖国政策を放棄し、開放体制に移行する際に生じた「内外価格差」を調整するために実施された。当時、金銀比価(金と銀の交換比率)は、海外では金1に対し銀1、日本国内では金1に対し銀2であった。これは日本国内における銀の相対価値が、海外に比べ3倍4評価されていたことを意味した。その結果、この格差が原因となり大量の5が海外に流出した。

- |      |       |      |      |
|------|-------|------|------|
| ア 3  | イ 4   | ウ 5  | エ 12 |
| オ 15 | カ 18  | キ 20 | ク 30 |
| ケ 50 | コ 100 | サ 金貨 | シ 銀貨 |
| ス 高く | セ 低く  |      |      |

問11 1860年代のインフレの原因の一つは、貿易が拡大したことによって輸出品を中心超過需要が発生したからであった。幕府は商品の流通経路を統制するため、五品江戸廻送令を発した。五品江戸廻送令の対象品を以下のア～オの中からすべて選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 茶
- イ 水油
- ウ 生糸
- エ 傕物
- オ 織糸

## 日本史

問12 図2は幕末から明治初期の大坂卸売物価指数の推移である。図2のFの時期に物価が安定した原因の一つは、地租改正によって財政収入が安定化したことであった。地租改正事業に関して正しいものを以下のア～オの中からすべて選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 全国規模で新たに土地測量を行い、土地の境界を定め面積と所有者を確定した。
- イ 地租改正条例の公布と同時に土地の永代売買が許された。
- ウ 江戸時代に農民が共同で利用していた入会地は、すべて官有地に編入された。
- エ 土地を所有していない小作農家は地租を納める必要がなかった。
- オ 当初の税率は3%であったが、1877年に3.5%に引き上げられた。

問13 図2の1880年代前半の物価下落の時期(G)に大蔵卿の任にあたっていた人物を以下のア～オの中から一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 松方正義 イ 由利公正 ウ 五代友厚
- エ 渋沢栄一 オ 前島密

問14 問13の大蔵卿に関して正しいものを以下のア～オの中からすべて選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 1871～73年の岩倉使節団の副使であった。
- イ 国立銀行条例を改正し、国立銀行による不換銀行券の発行を可能とした。
- ウ 国立銀行条例を改正し、国立銀行による銀行券の発行を禁じた。
- エ 大蔵卿退任後、立憲改進党を結成し、党首に就任した。
- オ 後に内閣総理大臣に就任した。

[Ⅲ] 次のA～Eは日本が調印・発表した国際条約等の一部である。A～Eを読み、下記の問い合わせに答えよ。

A

9 日本国及びソヴィエト社会主义共和国連邦は、両国間に正常な外交関係が回復された後、平和条約の締結に関する交渉を継続することに同意する。ソヴィエト社会主义共和国連邦は、日本国の要望にこたえかつ日本国の利益を考慮して、歯舞群島及び X を日本国に引き渡すことに同意する。ただし、これらの諸島は、日本国とソヴィエト社会主义共和国連邦との間の平和条約が締結された後に現実に引き渡されるものとする。

B

第五条 各締約国は、日本国の施政の下にある領域における、いずれか一方に対する武力攻撃が、自国の平和及び安全を危うくするものであることを認め、自国の憲法上の規定及び手続に従って共通の危険に対処するよう行動することを宣言する。

第六条 日本国の安全に寄与し、並びに極東における国際の平和及び安全の維持に寄与するため、アメリカ合衆国は、その陸軍、空軍及び海軍が日本国において施設及び区域を使用することを許される。

C

日本側は、過去において日本国が戦争を通じて中国国民に重大な損害を与えたことについての責任を痛感し、深く反省する。また、日本側は、中華人民共和国政府が提起した「復交三原則」を十分理解する立場に立って国交正常化の実現をはかるという見解を再確認する。中国側は、これを歓迎するものである。

D

第六条 (a)連合国すべての占領軍は、この条約の効力発生の後…九十日以内に、日本国から撤退しなければならない。但し、この規定は、一又は二以上の連合国

## 日本史

を一方とし、日本国を他方として双方の間に締結された…協定に基く、又はその結果としての外国軍隊の日本国の領域における駐とん又は駐留を妨げるものではない。

E

第二条 一九一〇年八月二十二日以前に大日本帝国と大韓帝国との間で締結されたすべての条約及び協定は、もはや無効であることが確認される。

問1 A～Eのうち、調印・発表が行われた年次が最も新しい条約等をA～Eの中から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

問2 AとBの調印・発表の間に起きた出来事を以下のア～オの中から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア IMF 加盟
- イ 国際連合加盟
- ウ OECD 加盟
- エ GATT 加盟
- オ 国際連盟脱退

問3 BとCの調印・発表の間に起きた出来事を以下のア～オの中からすべて選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 農業基本法制定
- イ 公害対策基本法制定
- ウ 中小企業基本法公布
- エ 地方自治法公布
- オ 過度経済力集中排除法公布

問4 CとDの調印・発表の間に起きた出来事を以下のア～オの中からすべて選

び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 科学技術万国博覧会開催
- イ 東京オリンピック開催
- ウ 長野オリンピック開催
- エ 沖縄海洋博覧会開催
- オ 日本万国博覧会開催

問5 DとEの調印・発表の間に起きた出来事を以下のア～オの中からすべて選

び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 東海道新幹線開通
- イ 東名高速道路全通
- ウ 成田の新東京国際空港開港
- エ 青函トンネル開通
- オ テレビ放送開始

問6 Aに調印した日本の首相について誤っている記述を以下のア～オの中から

すべて選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 公職追放の解除によって政界に復帰した。
- イ ロッキード事件で逮捕された。
- ウ 首相在任時に新ガイドライン関連法を制定した。
- エ 首相在任時に憲法改正をとなえて憲法調査会を設置した。
- オ 自由民主党の初代総裁に選出された。

問7 Aに調印したときのソヴィエト社会主义共和国連邦(ソ連)の最高指導者

(第一書記)を以下のア～オの中から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |          |          |        |
|----------|----------|--------|
| ア ゴルバチョフ | イ スターリン  | ウ モロトフ |
| エ エリツィン  | オ フルシチョフ |        |

## 日本史

問8 Aに関して  X に当てはまる島を以下のア～オの中から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 国後島 イ 択捉島 ウ 色丹島 エ 占守島 オ 得撫島

問9 Bに調印した日本の首相について正しい記述を以下のア～オの中から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 公職追放の解除によって政界に復帰した。  
イ 首相在任時に国交のない中華人民共和国と準政府間貿易(LT貿易)の取り決めを結んだ。  
ウ 首相在任時に大型間接税の導入をはかり、消費税として実現した。  
エ 首相在任時に国家総動員法を制定した。  
オ 首相在任時に「戦後政治の総決算」をとなえて行財政改革を推進した。

問10 Bの発効に関連する出来事として正しい記述を以下のア～オの中から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 条約批准案は衆議院の議決を経ないまま自然成立した。  
イ 条約批准案は参議院の議決を経ないまま自然成立した。  
ウ 条約批准案は衆議院及び参議院の議決を経ないまま自然成立した。  
エ 条約批准案は衆議院及び参議院の議決を経ないで、勅令により成立した。  
オ 条約批准案は両院議員総会による議決で成立した。

問11 Bが調印されたときのアメリカ合衆国大統領を以下のア～オの中から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア ケネディ イ アイゼンハワー ウ トルーマン  
エ カーター オ レーガン

問12 Cを発表したときの日本の首相について誤っている記述を以下のア～オの中からすべて選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 首相在任時に激しいインフレが発生し狂乱物価と呼ばれた。
- イ 首相在任時に列島改造政策を打ち出した。
- ウ 首相在任時に自身の政治資金調達をめぐる疑惑が明るみに出た。
- エ 首相在任時に傾斜生産方式を採用した。
- オ 首相在任時に財政構造改革法を成立させた。

問13 Cを発表したときの中華人民共和国の国務院総理(首相)を以下のア～オの中から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 蔣介石 イ 周恩来 ウ 華國鋒 エ 毛沢東 オ 鄧小平

問14 Dの内容について誤っている記述を以下のア～オの中からすべて選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 朝鮮の独立が定められた。
- イ 台湾の放棄が定められたので、中華民国はDに調印した。
- ウ 南西諸島はアメリカの施政権下におかれた。
- エ 南樺太・千島列島などの放棄が定められたので、ソ連はDに調印した。
- オ 小笠原諸島は国連の信託統治におかれた。

問15 Dに調印した日本の首相について誤っている記述を以下のア～オの中からすべて選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 公職追放の解除によって政界に復帰した。
- イ 首相在任時に日本国憲法を公布した。
- ウ 首相在任時に自衛隊を発足させた。
- エ 首相在任時に破壊活動防止法を成立させた。
- オ 昭和電工事件で首相を辞職した。

## 日本史

問16 Eを結んだ日本の首相について誤っている記述を以下のア～オの中からすべて選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 首相在任時に非核三原則を掲げた。
- イ 首相在任時にフォード大統領と「核抜き」の沖縄返還で合意した。
- ウ 首相在任時に小笠原諸島の返還を実現した。
- エ 首相在任時に「寛容と忍耐」をとなえて革新勢力との対立を避けた。
- オ リクルート事件で首相を辞職した。

問17 Eを結んだ韓国の大統領を以下のア～オの中から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 李承晩
- イ 朴正熙
- ウ 金泳三
- エ 金大中
- オ 盧武鉉